

みらくる 2

No.370



年賀式で書道パフォーマンスを披露いただいた米沢市出身の書道家
甘木龍史さん（左）と若林英毅組合長（右）

『どうなる支部の一本化 ～新たなるスタートへ～』

JA山形おきたま 南陽地区青年部 安藤 怜

今月号では、昨年11月30日に山形市の協同の杜で開催された「令和6年度JA山形県青年大会」における「JA青年組織活動実績発表」の部で最優秀賞を獲得した、南陽地区青年部の安藤怜さんの発表を紹介します。

私たち南陽地区青年部は、東部班、沖郷班、そして梨郷班の計3班、58人で活動しております。

南陽市ではサクランボやブドウなど果樹栽培が非常に盛んで所属している盟友の多くも果樹生産に取り組んでおります。そんな南陽地区青年部ですが、全盛期は八つの支部で、盟友数も200人を超える人数がおりましたが、農家の高齢化による盟友数の減少や、後継者不足から新規盟友も不足し、少人数の支部は運営すら困難な状況となりました。さらに、JAの店舗再編に伴う支店出張所の統廃合により各支部の活動する拠点もなくなってしまうました。

このままでは伝統ある南陽地区青年部が維持できない

この危機感から現状ある支部を統一し、南陽地区青年部を一本化しようとした話し合いが始まりました。令和4年のことです。

話し合いが始まりましたが、いざ始めてみると一本化へ向けて決まっていかなければならない課題は

山積みでした。ほんの一例ですが、現在ある支部の活動は？活動資金は？会計口座の取り扱い？事務局の体制は？様々な意見が盟友から寄せられました。それに対し、本部で一本化について話し合う設立委員会を立ち上げ、農作業の間を縫って協議を重ね、一つ一つ解決へ向けて歩みを始めました。

会議を続けていく中で、「南陽地区青年部として今後の方向性を決めるべきでは」といった意見がだされ、委員会の中で、今後の南陽地区青年部の方向性として二つ大きなテーマを作りました。



一つ目は「伝統ある活動を今後も継続していく」、二つ目は「持続可能な南陽スタイルを構築する」の二つです。

まず、一つ目の「伝統ある活動を今後も継続していく」については、文字の通りこれまで取り組んできた多くの活動を継続して行っていくという方針になります。

ここで、南陽地区青年部の活動の中から、二つの活動「食農教育」、「桜桃剪定講習会」、「良質米品質競技会」をピックアップしてご紹介します。

まず初めに「食農教育」についてですが、今までの食農教育は各班が地元小学校や児童館との結びつきが強いので、地区ごと班単位での活動を基本としていました。ですが、一本化に伴い、班単位だけ行うのではなく、他班への参加と協力は積極的に行うことにしました。

現在、南陽地区青年部では、赤湯小学校、中川児童館、沖郷小学校の三か所で活動を行っています。

赤湯小学校では、1〜3年生を対象に実施しており、学年ごとに子供たちの希望にそって毎年植える作物を決めています。

今年度はサツマイモ、ポップコーン、枝豆を定植しました。

中川児童館では、年長さんへ実施しており、主にサツマイモを児童の保護者とともに定植しています。

次に、沖郷小学校の食農教育について説明いたします。

沖郷小学校の食農教育の歴史は長く、今から約40年前に沖郷小学校と地域の方が協力して小学生に



米作りを体験してもらおうと企画した田んぼの授業が活動の始まりです。

その田んぼの授業が現在、食農教育という形で引き継がれ、子どもたちに農業の楽しさ、美味しさ、大変さを伝えています。

現在行っている内容は、初期の活動を継承し地域の方から7aの田んぼをお借りして、沖郷小学校3年生へ、田植えから稲刈りまで、一年を通しての米作り体験授業をしています。

今年度は青年部一本化への一歩として、南陽地区全体で沖郷小の食農教育への対応を行いました。

今後小中学生に身近にある食べ物や農業に興味をもってもらえるよう地域に支えられた農業体験を生徒達に届けていきたいと思います。

さて、先日開催された今年度の沖郷小稲刈り体験の際に、生徒や保護者、先生にインタビューをさせていただきました。その内容をご紹介します。

Q: 稲刈りする子どもたちを見ていかがでしたか？

A: 子どもたちもとっても楽しそうに作業をしていて、自分たちで

植えて収穫するというのは嬉しいことなんだなど、大変貴重な経験だと思いました！

Q: 農業体験をする授業についてどう感じましたか？

A: 自然と触れ合ったりする機会が少ないので、普段食べているものをこうやって自分たちで収穫するという経験はなかなかできません。今回はとても良い授業だと思いました！

Q: 田植から稲刈りを通して子どもたちの様子はいかがでしたか？

A: 実際に一連の作業を体験することで、お米の大切さを実感して、成長の様子をワクワクしながら稲

刈りを迎えることができました。そして、実際に収穫できたことで喜びあふれた様子でした。大変良い授業をしていただき感謝しています！

Q: 今日とれたお米、どんなご飯で食べたいですか？

A: やっぱ、塩むすびで食べたいです！

伝統ある食農教育が、一本化により、多くの盟友が活動に参加したことにより質の高い食農教育になったと実感できました！

次に、「桜桃剪定講習会」について紹介いたします。

南陽地区では古くから、青年部主体での桜桃剪定講習会に取り組んでまいりました。講師は県でも実績のあるOBの方などにもお願いしています。実演を交えながら、熟練の技術も惜しみなく教えていただき、盟友の栽培技術、剪定技術の向上に大いに貢献しています。その成果が実り、県品評会にて最優秀賞にあたる農林水産大臣賞を含む上位入賞を、これまで10人以上の盟友が受賞を果たすなど確かな技術の向上、そして継承が行われております。

この研修会はいままで、沖郷班

とその近辺の盟友だけで行われてきました。ですが、一本化により他班からの参加もできるようになりました。今では、おきたまを超え他地区や県外からも教えを請いたいとの参加依頼があり、今後更なる広がりを見せていきそうです。

最後に「良質米品質競技会」です。この競技会は南陽地区独自の活動として、盟友の生産技術の向上、食味品質を重視した米作りを推進するため、平成6年から開催している競技会です。

食味スコアとサンプル品質の合算点数で順位を決め、団体の部、個人の部、それぞれ表彰します。また一年の総括として勉強会を開催し、個人の部の最優秀受賞者より、栽培管理についての発表を



してもらい、南陽地区全体での技術発展を目指しています。

この競技会においても、参加盟友の中で全国の品評会にて最高金賞を獲得する方が出てきており、食味向上、良品質生産の意識が南陽地区に根付いてきていると実感できます。

一本化により、表彰は団体の部を廃止し、個人の部のみの表彰としますが、勉強会などは今後も継続していきたいと考えています。

次にテーマの二つ目「持続可能な南陽スタイルを構築する」についてです。

支部統一に伴い体制が変更となることから、これから行っていく事業を今までの対応で大丈夫なのか、事業の進め方などを変更しなければならぬのか、未来へ向けての環境を整えていかなければいけません。

くず米集荷の集荷方法や、各支部で行ってきた事業など、これまでの中身を精査していく中で盟友からこのような意見ができました。

「コロナ過で青年部とJA職員との交流が無くなった」そもそも顔がわからない職員が多い」このような声を受けて、盟友とJA職員



の交流、これからの展望についてJAとの意見交換を図るために、南陽地区交流会を開催することになりました。

内容は、南陽支店での合同BBQを企画しました。青年部中心に準備を進め、7月に大勢の盟友またJA職員の参加を受け、総勢50名で大盛況のもと開催することができました。

参加した盟友やJA職員の方から、「久しぶりに交流することができ嬉しい」「貴重な意見交換をすることができた」などこれから向けて、前向きな意見がたくさん聞かれ、とても有意義な交流会とすることができました。

最後に、南陽地区青年部の現状について、話させていただきます。

盟友数の減少、少人数支部の運営困難、活動拠点の消失、などの理由から一本化への流れとなりましたが、議論を重ねる中で、南陽地区青年部としての結束力がより強固なものとなったと感じました。



大きな二つのテーマを掲げここまで取り組んでまいりましたが、まだまだクリアしなければいけない課題はたくさんあります。一本化後の役員選出方法や、活動予算の組み方、そもそも一本化の意図が末端盟友まで伝わっていない、という大きな課題も残っています。また、現役員や事務局が変わった際の引継ぎなども大きな懸念点です。こういった課題をいち早く解決し、スピーディーな対応に取り組みます。

一本化を行ってから、班を超えた新たな交流、食育活動の充実、JAとの交流会の開催など、今までにない、新しい取組が生まれました。また、桜桃剪定講習会や良質米品質競技会などこれまで培ってきた伝統とワザを、継承し次世代に繋いでいきます。

これからも、盟友一人ひとりの英知を結集し、シン・農業時代に対応していく南陽スタイルを構築し、青年部活動が一本化した魅力と達成感をすべての盟友が共有できるものとなっていくよう、南陽地区青年部は突き進んで参ります！

高畠地区 和田そば打ち同友メンバー たかはた支店職員へそば振る舞い

そばを振る舞っていたいただき大変ありがたく思っている。そばを食べて一年を締めくり、来年から心機一転で業務に励みたいと思う」と話しました。



振舞われたそばを食べる職員

たかはた支店で12月10日、高畠地区の和田そば打ち同友メンバー4名が支店職員へそばを振舞いました。たかはた支店では以前から、早めの年越しそばを食べ一年の労をねぎらおうと、毎年この時期に和田そば打ち同友メンバーへそば振る舞いを依頼しています。そばは高畠産の新そば「でわかおり」を使用した手打ちのそばで、同メンバーの方が早朝から仕込みをし、昼の休憩時に職員へ振舞われました。そばを食べた職員は「毎年美味しいそばを振る舞っていただき大変ありがたく思っている。そばを食べて一年を締めくり、来年から心機一転で業務に励みたいと思う」と話しました。



おきたまの話題・出来事に
スポットを当て
いち早くお伝えします。

職員有志が育てた野菜を利用者へ提供 デイサービスセンター愛遊へ野菜を贈る



贈られた野菜を喜び利用者



カブのシチュー

JAが運営する米沢市のデイサービスセンター愛遊へ、職員有志が育てた野菜を贈り、12月12日にカブのシチューとして利用者に提供されました。愛遊の利用者に、旬の食材を使ったおいしい料理を味わい食の楽しみを感じてもらいたいと、職員有志が育てた旬の野菜を定期的に贈っています。利用者から、「柔らかく甘みのあるカブでおいしかった」「いつも食材いただきありがとうございます」などの喜びの声が聞かれました。

「お米甲子園」で金賞受賞 置賜農業高校 つや姫で初の受賞

12月6日に山梨県北杜市で「全国農業高校お米甲子園2024」が開かれ、全国から出場した67校170点のうち、山形県立置賜農業高等学校の2、3年生6人が栽培したつや姫が見事金賞を受賞しました。生徒たちは、こまめな生育調査や丁寧な管理を行い、刈り取った稲は杭掛けで天日干しし、食味にもこだわりました。メンバーの鈴木花奈さんは「これまで先輩方が好成績を収めてきた中で、自分達も金賞を受賞することが出来たと嬉し。卒業後は農林大学校に進み、将来は家の農業を継いで、地域の遊休農地を活用し米以外の栽培にも挑戦したい」と今後の意気込みを語りました。

生物生産科3年二宮弘平さん(左)、鈴木花奈さん(中央)、須貝真獅さん(右)



市場が求める啓翁桜出荷を目指して 啓翁桜目ぞろえ会

JA枝物振興部会は12月16日、部会員や関係機関など約30人が参加し「啓翁桜目ぞろえ会」を行いました。今年の出荷計画として37万本（前年実績対比対比108%）を目標に掲げています。目ぞろえ会では、花付きが均等か、新梢の状態や束の枝構成、また促成管理における年末年始需要に向けた調整方法として、温度や鮮度保持について念入りに確認しました。同部会の後藤仁部会長は「燃油価格の高止まりや運賃価格の値上がりで厳しい情勢であるからこそ、出荷規格を再度確認し高値販売に向け取り組んでいこう」と部会員に呼び掛けました。

水田農業に関する意見交換と加工米供給先工場を視察 稲作振興会視察研修

J A稲作振興会は12月16、17日の2日間で視察研修を実施し、稲作振興会役員12人が参加しました。

16日には衆議院第一議員会館を訪問し、鈴木憲和代議士と農林水産省農産局企画課との水田農業に関する意見交換を行いました。

また17日には(株)ニチレイフーズ船橋工場を訪問し、当J Aから供給している加工米の用途や加工の工程等について説明を受け、実際に使用されている冷凍食品の試食を行いました。



(株)ニチレイフーズの商品を試食

鈴木憲和代議士と意見交換

J Aらしいサービス提供で快適な暮らしを 「愛の郷」運営懇談会

J Aは12月17日、入居者の家族、施設周辺地区の住民、J A役員が集まり「愛の郷」運営懇談会を開きました。懇談会では、入居者の生活の様子や施設での催しなどを写真スライドを交えながらJ A職員が説明し、入居者の家族はその様子をみて安心した表情を浮かべ感謝の言葉を述べました。

若林英毅組合長は「「愛の郷」はたくさんの方のご理解とご協力により運営をさせていただいている。入居者の皆様が快適に暮らせるよう、J Aらしいサービス提供と健全な運営に努めていく」と話しました。



懇談する参加者

今年作の振り返りと次年度に向けた栽培技術対策を確認 ミニトマト栽培講習会

J Aミニトマト部会は12月19日、あやめ支店経済事務所でミニトマト栽培講習会を開催し、生産者や関係機関、職員合わせ20名が出席しました。

講習会ではトキタ種苗(株)の中野将規氏が講師を務め、今年作の振り返りや次年度に向けた栽培技術、管理全般や品種選定について説明が行われました。

置賜地区は梅雨の後半から8月末までの最低気温が高く、出荷量を基準とした管理の目安設定やハウス栽培においては着果負担軽減と葉面積確保、ネットハウスの導入検討など対応策を説明し、生産者と協議しました。



講習会の様子



職員に操作を教わる参加者

スマホの便利な機能やアプリを体験 スマホ教室

J Aは12月18日、あやめ支店で「J Aスマホ教室」を開き、組合員や利用者などの受講者13人が参加しました。

同教室はJ Aの地域貢献活動の一環で、スマホ操作に慣れていない組合員や利用者の暮らしをより充実させることを目的として行っています。当日はカメラ機能やアプリのダウンロード、また「J Aバンクアプリ」の使用方法について、職員が隣で教えながら実際に操作を行いました。

受講者からは「今まで使ったことのない便利な機能を知ることができた。今日教わった機能を活用していきたい」などの声が聞かれました。

冬の食文化を多くの方に 令和6年度雪菜目ぞろえ会

米沢市上長井雪菜生産組合は12月19日、米沢市の愛宕コミュニティセンターで、生産者、地元の市場関係者、飲食店経営者、行政、JA職員など約40人を集めて「令和6年度雪菜目ぞろえ会」を開きました。吉田清志生産組合長は冒頭の挨拶で「現在順調に生育しており今年は胸を張って良いものが出来たと言える」と述べました。目ぞろえのほか、ふすべ漬や冷や汁などの試食会や参加者による意見交換が行われ、雪菜の生産振興と消費拡大について活発な意見が述べられました。最後に米沢市の近藤洋介市長が「米沢市の食文化である雪菜をより多くの方に知ってもらえるよう、生産者を下支えさせていただくと話しました。」

今年の出来を確認し合う参加者



置賜県議団に要請書を手渡す 置賜選出山形県議団とJA山形おきたま役員との懇談会

12月20日、JA本店で「置賜選出山形県議団とJA山形おきたま役員との懇談会」が開かれ、置賜地区の県議会議員7人とJAの常勤役員らが出席しました。若林英毅組合長が置賜選出山形県議団の船山現人会長に要請書を手渡し、置賜地域の持続可能な農業を実現するために5点が要請されました。内容は、管内全体での生産調整による主食用米作付面積の維持確保を含めた5点が要請され、地域農業の発展に向け、県議と活発な意見交換が行われました。



要請書を手渡しJAの若林組合長(左)と受け取る船山現人会長(右)

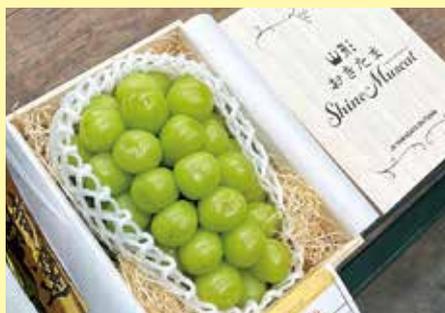
改革、変革の年に 令和7年 年賀式

JAは1月6日、本店で令和7年年賀式を開き、JA常勤役員や理事、職員など約80人が集まりました。式に先立ち米沢市出身の書道家、甘木龍史さんによる書道パフォーマンスが行われ、「変革」をテーマに力強い文字を書き入れました。また式のなかでは若林英毅組合長より年頭訓示があり「今年が改革、変革の年にしたい。これまでの事業を継承するだけでは時代に取り残されてしまう。JAの役割を再確認し、時代に沿った新たな事業展開で飛躍の一年にしたい」と訓示を述べました。

年頭訓示を述べる若林組合長



過去最高値で取り引された山形おきたま産シャインマスカット



過去最高値を記録 山形おきたま産シャインマスカット2025初競り

令和7年初となる競りが1月5日、東京都中央卸売市場の大田市場にて開かれました。山形おきたま産シャインマスカットが出品され、「桐箱入り三房(800g)」が過去最高値の15万円で取引されました。JA大粒ぶどう振興部会安久津弘道部会長は「生産者の努力で順調に出荷が進み、出荷量は前年比14.4%と大幅に増えている。当JAの主力であるシャインマスカットが、初競りで前年を上回る価格で取引され、最高のスタートとなった。今後も消費地へ安定したおきたまブランドの農産物を届けられるよう品質にこだわった取り組みを徹底していきたい」と力強く語りました。

第75回日本学校農業クラブ全国大会 最高賞の文部科学大臣賞受賞

山形県立置賜農業高等学校 食料環境科3年 平光紗緒理さん



全国の農業を学ぶ高校生の学習成果を発表する場として、10月22日～24日に「第75回日本学校農業クラブ全国大会岩手大会」が開催され、置賜農業高等学校 食料環境科3年 平光紗緒理さんが、意見発表会分野Ⅲ類（資源活用・地域振興）の最高賞である文部科学大臣賞に輝きました。

置賜農業高校では“置農食愛プロジェクト”として、校内の未利用農地を活用して子ども達と一緒に農産物を育て、収穫した野菜を調理して食べる「子ども食堂」と「こども農園」の運営を行っています。子どもたちとの触れあいの中で感じた想い、経験を通して再確認した農業の大切さや楽しさについて発表しました。「農業を通して自助と共助を学び合い、子どもたちの心を育む姿が素晴らしい。」と評価されました。

このたび文部科学大臣賞を受賞した平光紗緒理さんに話を伺いました。

Q 受賞されたお気持ちをお聞かせください。

A 昨年県大会に出場し負けて悔しい思いをしたことから、3年生になったら必ず出場すると決めていました。今年4月から毎日のように練習してきたので、結果が実を結んでとても嬉しく思います。

Q この活動をしようと思ったきっかけをお聞かせください。

A 私の母は、安心して安全な無農薬の野菜作りに挑戦しており、中学生の時から野菜の栽培を手伝っていたので、農業は幼い頃から身近にありました。手をかけ目をかけ、愛情を注げば、とびっきりの美味しさで応えてくれる農業の楽しさに惹かれました。そこから栽培や加工をもっと学びたいと思うようになり、置賜農業高校の食料環境科への入学を決意しました。「子ども食堂」との出会いが入学した秋です。50名近い親子にてきぱきとお弁当を配る先輩は輝いていました。私は豆の町で愛の

輪を広げる子ども食堂に、ワクワクしながら取り組みました。2年生になり、プロジェクト学習のテーマは勿論子ども食堂。美味しさを提供するプランをみんなで考えました。「紅大豆や夏野菜がいつぱいのカレーパンはどうかしら。」子どもたちのために「やってあげたい。」という思いが、どんどん膨らみました。

Q こども農園がスタートしたきっかけは何ですか。

A 転機となった出来事は、10回目を迎えた子ども食堂でのことです。手づくりのクッキーを手渡した男の子の「これしかもらわんにえながうつ。」の不満そうな一言です。「私たちの活動は、本当に役立つているのか。」と不安になりました。「感謝してもらえないなら止めよう。」という意見も出ました。このままではいけないと感じ、その想いを一緒に活動している地元のNPOスタッフの高橋さんへ相談しました。そこで返ってきたのは「自助と共助のバランスを考えてみましょうか。」という言葉でした。そこで「何かをしてあげるだけではダメ、私たちの畑で子どもたちと一緒に野菜作りを始めたい！」という思いが芽生えました。それ

がきっかけで、校内にあった未利用農地をメンバー全員で耕し、子ども食堂の野菜を作ることも農園がはじまりました。

Q 子ども食堂は何名で行っているのですか。

子ども食堂は地元のNPOと連携しながら行っています。三年生5人、二年生4人の9人の生徒と先生、大学生などのOB・OG方にも手伝っていただき土日開催しました。今年の夏は、東北大会などと重なり、意見発表の練習をしながらの収穫はとても大変でした(笑)

Q 意見発表の冒頭であった「紅大豆ごはん」を食べた男の子のうれしい！の笑顔が印象的です。他にどんなメニューを作ったのですか。

紅大豆カレーや夏野菜の天ぷら、スイートポテトなども作りました。収穫した農産物を使って作った料理を皆で食べました。メニューは栄養大学に行っている先輩や先生と話し合っ決めていました。

Q 活動の中で平光さんご自身が心がけてきたことを教えてください。

農産物の栽培は、最初子どもたちから「作るの面倒くさい、やりたくない」という声も多かったですが、「一緒にやろう、頑張ってやってみよう」と声掛けし、まずは参加してもらおうことからはじめました。収穫経験から、食べるだけでなくはな

やっていました。子ども達と関わることは大変ですが、様々な気付きもあり自分達も子どもたちから沢山のことを教えてもらった貴重な経験でした。

Q 学校生活はどうですか。

普通科では体験できないことが置賜農業高校にはあって、農業を通して様々な方と会い沢山の学ぶことが出来たことは大変良かったです。生徒がやりたいと思ったことを主体的にやらせてもらえて、先生方とのコミュニケーションも取りやすく楽しい高校生活です。卒業まで残りわずかとなったので、残りの期間で後輩に活動を伝えてきたいと思っています。

Q 経験は将来にどのように活かしていきたいですか。

私は将来管理栄養士を目指しています。料理するだけの管理栄養士ではなく、この農産物はどうのように作られていて、こんな栄養素があるなど、農業の大切さも沢山のの人に伝えられるような人になりたいです。進学してからも先輩たちと同じように、置賜農業プロジェクト、子ども食堂にも関わっていききたいと思っています。

置賜農業高校、全国高校生農業アクション大賞でも受賞！

JA全中主催の全国高校生農業アクション大賞において、同子ども食堂やフードバンクに取り組んだ置賜農業高校が大賞に輝きました。



12月17日に山形市のJA山形中央会で行われた報告会
安部善貴さん、平光紗緒理さん、白田菜歩さん
(前列左より)と担当教諭(後列右)



11月11日に東京都千代田区で行われた「全国高校生農業アクション大賞」の表彰式にて

おきたま「チャンネル」!!

「特派員報告」 ラ・フランス海外輸出 プロモーション

J A山形おきたまは12月13日～15日の3日間、マレーシアクアラルンプール市内でラ・フランスの海外輸出プロモーションを行いました。現地では、(株)JMG TRADING SDN BHD代表取締役社長 熊谷通泰氏をはじめ、(一社)山形県国際経済振興機構漆原意氏にもご協力いただきました。



ジャヤグロッサー
(ミッドバレーショッピングモール)



伊勢丹 (スリアクアラルンプール・シティ・センター)

プロモーション実施店舗

- ①伊勢丹 (スリアクアラルンプール・シティ・センター)
- ②ジャヤグロッサー (ミッドバレーショッピングモール)
- ③B.I.G. (モントキアラパブリカ)

マレーシアへの輸出実績

管内農産物の輸出は平成25年から続き、今年度の実績はラ・フランスが10月下旬から計725キロ、シャインマスカットは10月上旬から計520キロ、デラウェアは7月から計160キロ、サニールージュも7月から計144キロを輸出しました。



B.I.G. (モントキアラパブリカ)

購入者の反応

来店者の多くを占める中国系、欧米系外国人からは、ラ・フランスは「甘い (very sweet)」とこった評価が多くありました。12年前の開始当初と比較しても確実に定着しており、特に家族連れや夫婦での購入が多く見られました。プロモーションにむけたラ・フランスの準備数量は全て完売となりました。

現地協力者 (JMG 熊谷社長) より

「山形県産品目においては、おきたま産のぶどう類、ラ・フランスが主力となっている。店舗担当者からも販売プロモーション時の売れ方が通常より格段に良く、次年度も継続したプロモーションを行って欲しい」など、今後に向けた更なる期待の言葉をいただきました。



ドン・キホーテ (サンウェイピラミット)

〈まとめ〉

東南アジアは海外マーケットとして世界でも注目されている地域であり、その中でもマレーシアは農産物の需要が高いことが特徴です。競争が激しいものの「海外でのおきたまブランドの定着化 = Japanese La France of Okitama」においては、多大な可能性を秘めていると思います。以前参加した平成30年度のプロモーション時と比較しても日本国内の農産物輸出货量が増加しており、各都道府県においても中国圏に次ぐ海外取引場所として注目していることが理解できます。今後は各国との競争が益々厳しくなることが想定されます。現在、マレーシアとラ・フランスの取引を行っている産地はJ A山形おきたまのみとなっているため、海外にとって未知の果物であるラ・フランスの更なる需要拡大、ブランド定着化に向けて取組みを継続して行っていく予定です。



JA山形おきたま 米沢地区女性部

●部長 登坂 美喜代
●部員数 60名

第30回 家の光大会（映画鑑賞や抽選会）

12月7日に米沢中央支店にて第30回家の光大会を開催しました。今年はゆっくり映画を見たいという部員の要望により、女優の吉永小百合と天海祐希がW主演の映画「最高の人生の見つけ方」を鑑賞しました。所々共感し感銘を受ける場面があり、参加者は楽しい時間を過ごしました。その後の抽選会では、「味じまん」やJA商品、役員が手作りしたバック等が景品として出品されました。様々な景品を手にし、盛り上がる参加者たちの笑顔で溢れました。



冒頭、挨拶をする登坂部長



部員

JA山形おきたま 小国地区女性部

●部長 伊藤 とく子
●部員数 39名

みんなで楽しくクリスマス会

12月7日、小国町叶水「ほたる」にてクリスマス会を行いました。毎年プレゼント交換やゲームをして一年の活動を労い部員同士の絆を深めています。今年度はワナゲを行いました。年金友の会や地域の婦人会、老人会等で広く行っていますが、馴染みのない女性部員へ普及するために企画しました。豪華景品をかけ白熱し、珍プレー好プレーの連続で会場は大いに盛り上がりました。また、毎年恒例のプレゼント交換は、名前を伏せてランダムで交換するために開けるまでのドキドキ感を味わい何を貰ったか見せ合い、豪華クリスマスランチを味わいながら、女性部活動についてや日々の生活について語り終始笑いの絶えない会となりました。



部員

若手サークルおむすび 芋煮会

11月16日に小国町五味沢にある白い森交流センターりふれ内の別棟「洗心亭」にて小国地区若手サークルおむすびが芋煮会を行いました。メンバーがほぼ子育て世代のため、親子で調理台を囲み子ども達と一緒に調理しました。小国の芋煮の特徴は、白菜やきのこが入ることを話し地域によって具材が異なることを話しました。芋煮が出来



芋煮を作る部員



調理をする子ども

来るまでの間に、手芸の得意な部員がキーホルダーのワークショップを行い、待ち時間も楽しい交流会となりました。また、当日は一人1品以上の持ち寄り料理を持参し、作った芋煮と共に堪能しました。部員同士で作り方など意見交換や子育ての悩みなどを相談し交流を図りました。

おきたまクッキング



今月は、塩分を抑えカルシウムを補い、ご飯を中心とした和食を家庭で簡単に実践できる「乳和食」のメニューを紹介いたします。

◆ 材料のマークについて… 大 = 大さじ 小 = 小さじ

乳和食とは？

乳和食はみそやしょうゆなどの伝統調味料に、「コク味」や「旨味」を有している牛乳（成分無調整牛乳）を組み合わせることで、利用されている食材本来の風味や特徴を損なわずに減塩することができ、おいしく和食を食べてもらう調理法のこと



です。乳和食の最も重要な栄養的効能は、食塩過剰摂取の防止です。またこれに加え、日本人のカルシウム不足の改善や、特に高齢者が不足しがちな動物性タンパク質を補うことも出来ます。

乳和食の調理法

簡単でおいしい乳和食の調理法は、基本は普段から作っている和食のだし汁や水分を牛乳に置き換え、調味料を減らすだけ。これだけで驚くほど少ない塩分でもおいしさを保ちながら減塩ができます。夕食の献立のうち2品を乳和食に替えるだけで、1色で2g以上の減塩が可能になります。

牛乳にはこんな特徴が

牛乳は、筋肉を作り活発な内臓を保つためのタンパク質、骨や歯をつくるカルシウムやビタミンも豊富に含まれる優れた食品です。最近の調査によると、こんな効果もあることが分かっています。

- ・ 高血圧を予防
牛乳に豊富なカルシウムやカリウムには、血圧を上昇させる血中ナトリウム作用を妨げる働きがあります。
- ・ メタボのリスク低減
男女ともに牛乳・乳製品の摂取量の多い方が、メタボリックシンドロームのリスクが低いことが分かっています。
- ・ 健康寿命が長くなる
牛乳を摂取している人は血清アルブミン値が下がりにくく、牛乳を毎日飲むグループの方の生存率が高いことが分かっています。

JAでは健康寿命100歳プロジェクトを展開し、乳和食のノウハウを広め、組合員・地域住民のみなさまの健康づくり、健康寿命100歳を目指しています。



ぶりと大根のしょうが入りミルク粕煮

作り方

- ①ぶりは食べやすい大きさに切り、塩少々（分量外）を振ってしばらく置き、表面の水気を拭いて熱湯をかけておく。
- ②鍋に水200ccと和風だし、大根、にんじん、ねぎを入れて野菜がやわらかくなるまで鍋のフタをしアクを取りながら弱火でコトコト煮る。
- ③②にぶりを加えてさっと火を通し、Aを加えて味をととのえ火を止める。
- ④器に盛り、おろししょうがを添える。

材料（2人分）

（1人当たりの塩分量 1.4g）

- | | | | |
|------------------|------------|-----------------------|------------|
| ○ぶり……2切れ | ○水 ……200cc | A
ミ
ル
ク
粕 | 牛乳………200cc |
| ○大根（いちょう切り）…5cm | | | 酒粕………40g |
| ○にんじん（半月切り）…1/5本 | | | みそ………大 1 |
| ○ねぎ（斜め切り）………1/5本 | | | おろししょうが |
| ○和風だし（顆粒）………小 1 | | | ………1片分 |



アドバイス
牛乳を使うことで魚の臭みが消え、身はふっくらと仕上がります。また、牛乳のうまみが魚の味をより深め、調味料の味もより強く引き出し塩分量も半分以下に抑えられます。汁を多めにし味をととのえ、ミルク粕汁として召し上がってもいいでしょう。

JAでNISAを はじめませんか



NISA とは、国民の資産形成を応援する、国がつくった税制優遇制度です。
どんな制度なのか、専門の JA 職員が詳しくご説明をいたします。

かなはの小动物 JAバンクキャラクター
どすけ&うさぎ × よりぞう
オリジナルスライダーポーチ プレゼント

※先着順のためグッズがなくなり次第、終了させていただく場合がございます。※画像はイメージです。
※一部のJA・店舗では投資信託の取扱いがない場合がございます。詳しくはお近くのJAまでお問い合わせください。



【投資信託に関してご留意いただきたい事項】

●投資信託は、貯金等ではありません。 ●投資信託は預金保険・貯金保険の対象ではありません。 ●JAバンク*が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。 ●JAバンクは投資信託の販売会社であり、投資信託の設定・運用は投資信託会社が行います。 ●投資信託は国内外の有価証券等で運用されるため、信託財産に組み入れられた株式・債券・REIT等の値動きや為替変動に伴うリスクがあります。このため、投資信託資産の価値が投資元本を下回るリスク等は、投資信託の購入者に帰属します。詳しくは、契約締結前交付書面、投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。 ●投資信託の運用による利益および損失は、投資信託の購入者に帰属します。 ●一部の投資信託には、特定日にしか換金できないものがあります。 ●投資信託の購入から換金・償還までの間に、直接または間接的にご負担いただく代表的な費用等には以下①～③のものがあります。なお、これらの手数料等はファンド・購入金額等により異なるため、具体的な金額・計算方法を記載することができません。各投資信託の手数料等の詳細は契約締結前交付書面、投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。 ①購入時: 購入時手数料がかかるファンドがあります。 ②運用期間中: 運用管理費用(信託報酬・管理報酬等)が日々信託財産から差し引かれます。 ③換金時: 信託財産留保額がかかるファンドがあります。また、外貨に両替して購入・換金するファンドには、①～③の費用等とは別に為替手数料がかかります。 ●お申込みにあたっては、契約締結前交付書面、投資信託説明書(交付目論見書)を十分お読みいただき、内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

*お客さまと取引のある農業協同組合および当該農業協同組合が所在する都道府県の信用農業協同組合連合会ならびに農林中央金庫を含めてJAバンク会員といえます。

NISA のこと、資産運用のこと、JA にお気軽にご相談ください。

地域のみなさまの
ライフプランを応援します

JA山形おきたま

お子様の未来を応援!

教育
ローン

ローン
キャンペーン

最大引下げ後変動金利

年 **1.75%**
+保証料率

(令和7年1月1日 現在)

下記の金利引下げ条件を必ずお読みください。

ネット仮審査OK!

マイカーの夢を応援!

マイカー
ローン

[実施期間] 令和7年1月1日～令和7年5月31日 好評受付中!

金利引下げ条件項目	引下げ利率	JAマイカーローンの商品概要	JA教育ローンの商品概要
①JA住宅ローンご利用中の方	0.6%	●お借入時の年齢が満18歳以上75歳未満で最終年齢が満80歳未満の方 ●前年度税込年収が150万円以上ある方 ●当JAが指定する保証機関の保証を受けられる方 ●その他JAが定める条件を満たす方	●お借入時の年齢が満18歳以上で最終年齢が満71歳未満の方
②前年度農畜産物JA出荷額100万円以上の方(専従者含む)	0.3%		
③給与振込口座ご指定の方	0.2%	●自動車購入資金(新車・中古車・自動車二輪) ●自動車購入時の諸費用(税金・自動車共済(保険)掛金・登録諸費用等)、車検・整備の費用 ●運転免許の取得費用 ●簡易な車庫建設のための費用(100万円以内) ●他金融機関から借入中の自動車資金の借換資金	●就学されるご子弟の教育に関するすべての資金(借入申込日から2ヶ月以内にお支払い済の資金を含む)とし、資金使途の確認可能なもの 《例》教育施設へ支払う入学金、授業料、学費、アパートの家賃等 ●他金融機関から借入中の教育資金の借換資金
④JAカード(クレジットカード)ご契約の方	0.2%		
⑤NISA口座開設の方	0.2%	●10万円以上1,000万円以内(所要金額の範囲内)	●6ヶ月以上15年以内
⑥JAバンクDeCoご契約の方	0.2%		
⑦公共料金振替口座を1つ以上ご指定している方(JAカード決済含む)	0.1%	●元利均等返済(月払方式または月増額返済併用方式)	●担保: 原則不要です ●保証: 当JAが指定する保証機関の保証をご利用いただけますので、原則不要です。
⑧JAネットバンク(JAバンクアプリプラス)ご契約の方	0.1%		
⑨ネットによる事前審査をお申込の方	0.1%	●担保機関・保証料 ●山形県農業信用基金協会(年0.5%)	
⑩マイカーローン/教育ローンご利用中またはリピーター(完済後2年以内)の方	0.1%		
⑪他社マイカーローン(残クレ含む)借換の方(マイカーローンのみ)	0.1%		

*詳細についてはお近くのJA窓口へお問い合わせください。

店頭基準金利

年 2.75% より

最大

年 1.00% 引下げ

※複数の条件に該当する場合でも、最大1.00%引下げとなります。

ご注意ください

- 表示金利は、令和7年1月1日以降にお申込みいただき、令和7年6月30日までにご契約された場合の適用金利であり、お借入当初に適用されるものです。
- なお、金利情勢等の変化により、上記期間中であっても適用金利を見直しさせていただく場合がございます。
- お借入後の利率は当JAの基準金利により、年2回の基準日(4月1日および10月1日)に見直しを行います。
- 審査の結果、ローン利用のご希望に添えない場合もございますので、ご了承ください。
- 店頭にて返済額の試算を行っております。
- ローン商品の詳しい内容については、店頭にて説明書をご用意しております。
- 金利引下げ条件となっているお取引が解消された場合、および返済の滞りが発生した場合には、引下げ後金利の適用を中止し、店頭基準金利に引上げさせていただきます。
- ご返済期間終了までの間に、繰上返済を行う場合や、返済条件を変更する場合には、別途当JA所定の手数料が必要となります。

「JAとのお取引はこれから」というお客さまもお気軽にお問い合わせ・ご相談ください。(ご利用に関しては、組合員加入のための出資が必要となります。)



スマートフォン、
タブレットからも
仮審査できます!
お申込みはこちら

米沢中央支店 0238-36-0214
たかはた支店 0238-52-0057
南陽支店 0238-49-7744
川西支店 0238-42-3125

あやめ支店 0238-83-3513
*白鷹地区・飯豊地区・小国地区に
お住まいの方は、あやめ支店へ
お問い合わせ下さい。

JAバンク山形 JA山形おきたま

クロスワードパズル Crossword puzzle



↓タテのカギ

- ① 教育・勤労・納税は国民の三大——です
- ③ 気仙沼の名物、サメの加工品
- ⑥ さいころや角砂糖はこの形
- ⑧ 封書を数えるときに使う言葉
- ⑨ キラキラ光る——入りのセーター
- ⑪ 風を受けて水上を進みます
- ⑬ 地銀よりも規模が大きめ
- ⑭ といで炊きます
- ⑮ 水で洗い物をするとかじかむことも
- ⑯ 多くが九州で作られている酒
- ⑰ こ、これぐらい平気だい!
- ⑳ チョキがはさみならパーは

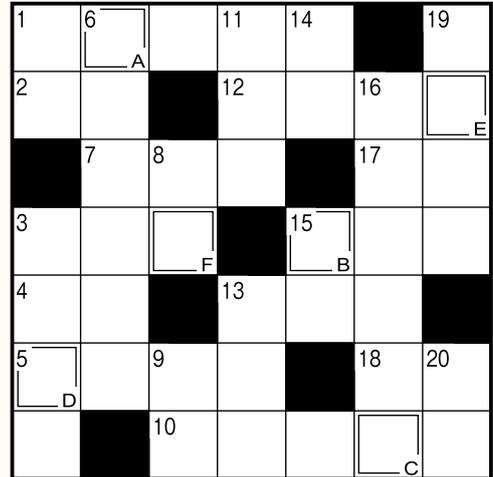
→ヨコのカギ

- ① 2月14日に職場などで配る人もいます
- ② リンゴの品種。青森県北東部に同じ名前の市があります
- ③ 天気が崩れて——が強まった
- ④ 寒い日にはこりやすくなる人も
- ⑤ 節分にイワシの頭を刺して飾ります
- ⑦ 紅茶の茶葉とお湯を入れます
- ⑩ 熱心に後輩を指導する、——のよい先輩
- ⑫ 看護師——ともいうナースステーション
- ⑬ 和歌山県には奈良県と三重県に囲まれた——があります
- ⑮ 不利の反対語
- ⑰ 古代インド発祥のエクササイズ
- ⑱ じゅうたんを敷く所

正解者に抽選でプレゼント

★米沢牛 (2名)

★クオカード (10名)



クロスワードを解いて、A→Eの二重ワクの文字を順に並べてできた言葉が答えです。

ヒント

日本ではオホーツク海で見られます。

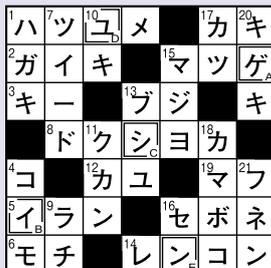
応募方法

官製はがきなどにクイズの答え・郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号・本誌やJAに関するご意見・ご感想を必ずご記入の上、〒999-0121 川西町上小松978-1 JA山形おきたま総務課宛にお送り下さい。
締め切り 1月31日(金)必着

1月号の正解は

A B C D E
ゲイシュン

でした



1月号当選者

★米沢牛 (2名)

竹田 愛華里 様 高 畠 町 金 田 文 子 様 白 鷹 町

★クオカード (10名)

安 部 光 子 様 米 沢 市 色 摩 貞 助 様 長 井 市
木 村 敦 子 様 高 畠 町 坂 由 美 様 長 井 市
川 崎 恵 美 子 様 南 陽 市 小 形 孝 子 様 白 鷹 町
星 マサ子 様 南 陽 市 横 澤 幸 子 様 飯 豊 町
梅 津 一 郎 様 川 西 町 藤 田 明 美 様 小 国 町

※当選者ならびに手紙・イラストなど掲載時の住所、氏名の紹介について、ご了承のうえご応募下さい。
なお、応募ハガキの個人情報は、当JAの事業運営に関すること以外の目的には使用しません。



〈役員会だより〉 左記の事項を協議しました。

◎理事会の報告

第9回理事会

開催日・場所 12月27日(金)・本店

【協議事項】

第1号議案

令和6年度第4四半期
余裕金運用方針・計画
について

第2号議案

令和6年度産米早期追加
払いについて

第3号議案

半期開示(ディスクロ
ージャー誌)の対応につ
いて

第4号議案

出資金減口の承認につ
いて

◎監事会の報告

第12回監事会

開催日・場所 12月27日(金)・本店

【協議事項】

第1号議案

令和6年度第3四半期
監事監査実施について

2月の無料税務相談

当JAは、税に関するさまざまな相談を無料で承っています。相談ご希望の方は、予約制ですので次の問い合わせ先までご連絡下さい。

▼開催日時・場所

2月19日(水)午前10時～午後3時

本店(川西) ☎46-31112

▼相談税理士 仁科孝先生

2月の無料法律相談

当JAは、無料で法律相談を承っています。相談ご希望の方は、各支店にお申し込み下さい。

▼開催日時・場所

2月26日(水)午後3時～午後5時

本店(川西)

▼相談弁護士 工藤剛先生

▼相談内容 交通事故、相続など



セブン-イレブン白鷹町荒砥店 改修工事に伴う休業について

店舗リニューアルの為、改修工事を行います。誠に勝手ながら下記の期間は、休業とさせていただきます。

【期間】→ 2月5日(水)午後3時～
2月27日(木)午前7時まで

リニューアル オープン

2月27日(木)午前7時(予定)

あなたの運勢 2月

占い師 モナ・カサンドラ



♈ 牡羊座 3/21～4/19

【全体運】交友関係が活発化。懐かしい友達との再会も心を潤します。おしゃれに力を入れると開運へ。外出が吉
【健康運】室内でのちょっとしたけがに気を付けて
【幸運の食べ物】縮み小松菜



♉ 牡牛座 4/20～5/20

【全体運】予定とは違う方向に話が進みそう。慌てずに話し合ってください。丁寧な対応と気遣いで状況は改善へと向かいます
【健康運】気管支を大切に。喉にいい食べ物を取って
【幸運の食べ物】野沢菜



♊ 双子座 5/21～6/21

【全体運】好調運。心配事は解消へと向かい、新たな提案がされそう。友人や知人と過ごす時間を大切に。喜びを得られます
【健康運】運動不足は体調不良の原因に。ストレッチを
【幸運の食べ物】イチゴ



♋ 蟹座 6/22～7/22

【全体運】忘れていたことが発覚しそう。保険や貯蓄の満期を確認し、必要なら継続を。下旬からはパワフル。習い事にツキ
【健康運】疲れを感じたら早めに休憩を入れる◎
【幸運の食べ物】カブ



♌ 獅子座 7/23～8/22

【全体運】対人運が活性化。助けてくれる人が現れて計画は前へと進み始めます。旅行に行くのもお勧め。ぜいたくプランが◎
【健康運】免疫力をアップさせる食糧を多く取って
【幸運の食べ物】アスパラ菜



♍ 乙女座 8/23～9/22

【全体運】作業の効率化に成功し仕事がスピードアップ。空いた時間は大切な人のために使って。捜し物は見つかる予感
【健康運】血行を促進。肩凝りは早めに解消して
【幸運の食べ物】セリ



♎ 天秤座 9/23～10/23

【全体運】良好運。努力は実り、うれしい知らせも入りそう。頼まれ事が多く大変ではありますが、やりがいを感じられます
【健康運】風邪や貧血に気を付けて。ビタミン補給を
【幸運の食べ物】エノキタケ



♏ 蠍座 10/24～11/22

【全体運】気になることがあっても焦らず下旬を待ちましょう。助け船を出してもらえます。こじれさせない配慮が大切です
【健康運】体力増進を図って。シェイプアップも◎
【幸運の食べ物】デコボン



♐ 射手座 11/23～12/21

【全体運】前半は順調ですが後半はストップがかかりがち。問題はスルーせず小さいうちに解決を図って。金運は上昇
【健康運】しょうが湯で体を温めて。あったか靴下も◎
【幸運の食べ物】カラシナ



♑ 山羊座 12/22～1/19

【全体運】運勢は緩やかに上昇。困ったことありますが、諦めずに立ち向かえば解消へ。時間をかける覚悟を決めて
【健康運】何事も我慢し過ぎないで。ハーブティーにツキ
【幸運の食べ物】ラディッシュ



♒ 水瓶座 1/20～2/18

【全体運】勢いがあり躍進が期待できます。パワーのあるときだからこそ周囲に気遣いを見せて。共に喜べる仲間づくりを
【健康運】健康は食事から。薬の飲み過ぎに注意
【幸運の食べ物】パセリ



♓ 魚座 2/19～3/20

【全体運】上昇運。困り事は解消に向かい、味方になってくれる人が出てきます。新しいことに挑戦を。可能性が広がります
【健康運】コンディションは良好。スポーツへGO!
【幸運の食べ物】ブロッコリー

